

殉職船員六名の奉安

四月十三日、六名の殉職船員の御霊を奉安致しました。業種別の内訳は、内航船員二名、水産関係四名となっております。

殉職船員

三浦	展幸	翔洋船舶(株)
能代	務	黒川水産(株)
澤井	清蔵	上野小網
千原	全良	(有)茂徳汽船
中曽根	幸晴	共和水産(株)
日下	敏和	双輝汽船(株)

参列者が語る



御代テル子さん(左) 渡辺美代子さん

初めての追悼式

追悼式への出席は初めてという御代テル子さんは、七歳年下の妹、渡辺美代子さんと二人で参列した。母が生きていれば一緒に連れてきたかったと話す。

当時兄とともに乗船し幸運にも生き伸びた船長が、この式典のことを知らせてくれたのが契機だった。「もっと早くこの存在を知っていたら」と残念な表情を見せる。

御代さん、渡辺さんの兄は当時日本郵船(株)に所属しており、七〇〇人の兵隊と三〇〇トンの物資を積んだ商船「白根丸」に船員として乗船していた。神戸港を出港し、横須賀へ向かう途中、ちょうど和歌山県西牟婁郡すさみ町沖で米軍艦の攻撃により沈没、戦死した。当時乗船していた乗組員の半分以上が兄同様に命を落としたという。

丁寧な献花をしたあと、御代さんは半ば涙を覆いながら「当時十九歳という若さで逝った兄の思い出は明確には思い出せない。しかし、日本の繁栄に大きく貢献したであろうこれだけの若く尊い命を多く犠牲にした戦争を二度と繰り返してはいけない」と当時を振り返り、「命ある限り妹と二人でこれからも毎年参加したいと思う」と目頭を押さえて語った。

戦争二度としない

関西に住む片山春芳さんは太平洋戦争のまっ只中、鹿児島より兵員を乗せて乗船し、東シナ海を横断中に、弾丸を受けて戦没した同船の乗



旧山下新日本汽船のOBの五人
左から四人目片山春芳

結婚の予定だった

二度と繰り返してはならない。またこのような船員の慰霊の儀が執り行われていることは意外にも世間で認知されていないため、我々が広く伝えていく必要がある」と加えた。

殉職船員遺族の三好智恵子さんは八年前、タンカーに乗船していた息子の雅也さんを、オマーンで船からの転落事故で亡くしたという。日本に帰れば結婚の予定だったといい、楽しみにしていた息子のことを考え、しばらくは海を見れなかったが、やっと海や船が見れるようになったという。

式典には雅也さんの兄の周次さんと婚約者だった戸栗知恵さんも参列した。



三好智恵子さん(中央)周次さん(左)戸栗さん(右)

組員の仲間を慰霊するために、同乗していた仲間四人とともに毎年五月には必ず慰霊碑を訪れているという。戦後六十四年を迎えた今、世間における戦争被害の意識は薄れつつあるが、片山さんは「海洋での戦没者数は軍人の損耗率を遥かに上回る」と強調し、いかに過去の戦争で日本の海運が大きな犠牲を払ったかを切に語った。

さらに片山さんの仲間は「戦争は

和やかに懇親会

予定通りの追悼式典終了後、参列者は観音崎京急ホテルに向かいました。天候に恵まれ、懇親会場もあふれる盛況ぶりとなりました。

あいさつ

会長 相浦紀一郎

良い天気にも恵まれ、またそよ風の中、本日の追悼式にお出で下さいましてありがとうございます。

中馬・高木両先生には、昨年に引き続き、二回目のご参加を頂きありがとうございます。両先生には、ソマリア沖の海賊問題にご尽力を頂き、そこに自衛艦が出ていき、我々海運会社のもは安心してその海域を航行できることになっております。また、海員組合の藤澤組合長もやっぱり自衛艦は出すべきだと話しておられ良かったと思います。船主協会といっしょになってやっていると良い結果になったと思われま

す。海賊と戦うということは、我々の自衛権行使であり、泥棒が入ってくれば正々堂々と戦ってよいでしょう。アメリカが戦っているから、一緒に戦うという姿とは違っています。ですからこの問題を両先生のお



内閣総理大臣追悼の辞を代読する
国土交通省海事局大野裕夫次長

力添えで立派に国会を通したということは大変ありがたいと存じています。ありがとうございます。

その次は自分のことですが、私はこの六月に任期を終え、今回辞することに致しました。後任についてはあと二週間後に決まります。その方はこの中にいらっしゃいますが、厳秘のことですのでご寛容を賜りたいと思います。長い間ありがとうございました。皆様のおかげと感謝しております。本当にありがとうございます。

海事振興連盟会長

衆議院議員 中馬弘毅先生

ご紹介いただいた中馬弘毅先生です。海事振興連盟というのは、海に關した、外航内航沿海それから港灣倉

庫関係などに係る、国会議員二百数十名からなる大きな団体で、その会長を仰せつかっております。今日は好天に恵まれて、追悼式が厳かに行われ、心からご冥福をお祈りする次第です。

戦没者の方が六万余人とのことです。日本は戦後六十四年過ぎておりますが、それ以降、日本はだれ一人として戦争で亡くなった人はいない、世界でも稀有なこと。平和は民族の我々の悲願としてこれからは守っていかねばと思っております。同時に我が国は海に囲まれておりませんが、大きな海難が起こっておりません、しかし、三千名という殉職船



懇親会 式典終了後観音崎京急ホテルで語り合う参列者

員は結構多い数字です。これからの事として、海に對しこ

れまでは子供のころ、憧れとかそれなりに目的があったわけですが、このごろ少しおろそかになっており残念に思っております。海事振興連盟は、もう少し海に關心を持つとういうことになっております。

海には多くの資源があります。海に囲まれた日本の資源、ハイドロメタンという海の資源です。これは取り出すのに相当の技術が必要ですが、大体めどもつき始めております。これが利用可能となれば、日本は百年ぐらい石油を輸入しなくても良くなることになってきます。また、日本の近海には鉱物資源が、相当あるといわれています。深海の海底からこれを取り入れる技術が開発されるならば、日本の海の周りは資源に恵まれることになり、日本は他の国に大きく頼らなくても十分にやっていると

なることになってきます。さらに、我々の食糧、海の中には海藻も魚もたくさんあります。雑魚もおりますが、それを利用していけば十分な食料になり、日本の食料の自給率も良くなります。陸上の自給率だけでなく、海の資源も考えれば、広大な面積を持つ牧場と考えられると思えます。海の安全は第一です。このことも先輩方のご加護のもとに努めていくのは、我々の任務であり、今後とも戦没者殉職者の御霊にお祈りしながら、次の時代を開いていかなければならないと思っております。

衆議院議員 高木義明先生

目の前にここ観音崎から見下ろせる海は正に平和の日本です。戦没船員の方がた、また殉職船員の方がたの尊い犠牲の上に今の平和があると改めて感じますと共に、二度と過ちを犯さない平和な安全の海を守り、



献花する中馬弘毅衆議院議員 (右)
高木義明衆議院議員 (左)

船乗りさんの汗が世界の人びと日本の皆さん家族のために、今日も船を操っている方がおられるということだけは、しっかりと胸に押えていきたいと思えます。
いきなり海賊の話も出ましたが、私たちはやはり多くの船員の皆さんが安心して働けるそのためには世界の平和、海の安全を政治の役割としてしっかり守らなければならぬと考えております。

海賊の問題を機に国民の皆さんが海によって船によって多くの経済活動となり国民の生活が成りたつていてということが改めて見直された事例ではなかったかと思っております。

海洋基本法、基本計画もできており、中馬先生が会のリーダーとして党派を超え議論をされており、これからも決意を新たに、しっかりと仕事をしたいと考えております。

ご遺族の方もたくさんお出でですが、多くの悲しみ苦しみを乗り越えこれからもご健勝でありますようお祈りしております。

会長交代

鈴木邦雄新会長就任、 相浦さん退任

平成二十一年五月二十六日の評議員会及び五月二十八日の理事会で当会の相浦会長の退任、鈴木新会長の



鈴木邦雄新会長

就任及び役員・評議員の一部の方の交代が議決された。理事会終了にあり、それぞれ挨拶が行われた。

役員を代表して川村越理事が(全日本船舶職員協会)「相浦会長は十年の長きにわたり、天皇皇后両陛下をお迎えするなど活発に行事を執り行い、大変なご功績を残された。また、ユーモアに富み、一緒にいてもとても楽しい雰囲気の仕事ができた。感謝に堪えない」と述べ、さらに崎長理事(川崎汽船)、海員組合大内副組合長(藤澤理事代理)、森本理事



相浦紀一郎前会長

(船長協会)からも同様に敬礼の言葉が送られた。また、退任する大内理事、片岡監事からも退任とお礼の挨拶が行われた。

退任する相浦会長は「新会長になる鈴木さんは、商船三井で大きな功績を残しており、顕彰会でもしっかりした仕事をされると確信しています。長い間皆様のご協力に感謝します」との言葉を述べた。また、鈴木新会長は、「会長を引き受けた以上、皆様のご支援助とご理解を頂き頑張りたい」と抱負を語った。

役員・評議員の一部交代

- 「理事」
 - 新任 鈴木 邦雄
 - (株)商船三井 相談役 武田 和彦
 - (社)日本船舶機関士協会 会長 宮原 耕治
 - 日本郵船(株)取締役会長 小野 嘉久
 - 日本水先人会連合会 会長 元山 登雄
 - (社)日本造船工業会 会長 相浦 紀一郎、大内 博文
 - 退任 草刈 隆郎、前川 弘幸
- 「監事」
 - 新任 三尾 勝
 - (財)日本船員厚生協会 常務理事 退任 片岡 和夫
- 「評議員」
 - 新任 重 義行
 - (社)大日本水産会 専務理事 中澤 政光
 - 全日本海員組合 中央執行委員 佐々木 真己
 - 川崎汽船(株) 常務執行役員 赤峯 浩一
 - 日本郵船(株) 経営委員 松村 泰材
 - (社)日本先人会連合会 常務理事 退任 石原 英司、三尾 勝、江口 光三、関根 博、小野嘉久

投稿

第三十九回戦没・殉職
船員追悼式に寄せて

気仙沼市唐桑町

小山 利喜男



小山利喜男さん
気仙沼港まぐろ船をバックに

私共宮城県気仙沼市唐桑町海の殉難者慰霊碑保存会会員は七十名で、海軍及び徴用船戦没者、明治二十九年以降の津波の遭難者、主として戦後に於ける鮪漁業の殉難者、南東に突き出た半島故の舟艇、磯作業の殉難者等五百九十八名を合祀して慰霊碑を建立、毎年八月三十日に追悼慰

霊祭を執り行っております。この度、日本殉職船員顕彰会の追悼式に参加のため会員諸氏に同行をお誘いした処、十一名の快諾を得て往復千三百二十キロの慰霊の旅となりました。

現役を退いた人々の集いでありますので、戦争体験者、遠洋漁業経験者の方々です。現地到着いたしました、碑文石に手を合わせ薄霧の中、沖を眺めますと左手に洲の崎、右手には三浦三崎、日本に此所にしかない霊地でありました。水平線の彼方には今でも手をさしのべている先人達が居るようで、現在の平和が悠久であることを御霊にお祈り申し上げ、厳かに式が終った時に、同行の伊藤豊氏(八十九歳)が言いました。「これで戦友たちに長い間の思いが言えて体が軽くなった気がします」と。

本年気仙沼から参加したもうひと組の小野寺やえ子さん、母と娘がおりました。ホテルでお会いしたので、母の旦那様は遠洋鮪船の漁労長をして定年後亡くなり、嫁の旦那様はやはり鮪船の船長をしていたのですが、操業中に急病で亡くなり、本年で三年間顕彰会の追悼式に参加しているとのことでした。気仙沼の唐桑半島は、船員の多いところでした。多いときには二千七百人を数えました。文明の流れでしようか、気仙沼の岸壁には東南アジ

アの船員さんが多くなり、鮪船は二度の滅船によって職を失う人が出てきて、地元船員は二百七十人、十分の一に減りました。でもこの海を平和利用する為には絶対に若手後継者が必要であります。

先人に菊を捧げ冥福を祈った私共は帰途のバスの中で、どうすれば前が拓かれるのかの論議が沸騰致しました。改めて今回の追悼式の参加の意義の大きさを感じさせられ、主催者の方がたに敬意を表して小文とさせて戴きます。



水野孝子さんとご主人

式典に出席して

新潟県新潟市 水野 孝子

第三十九回戦没・殉職船員追悼式は平成二十一年五月十四日。晴天のもと執り行われました。今年も盛大でした。観音崎岬より見渡せる海原は穏やかで毎年出席させていただいていますと懐かしささえ感じさせる

風景でした。式典は相浦会長様のもと肅々と執り行われておられる様子がひしひしと伝わって来ました。

今回の席は能楽「海霊」の奉納を垣間見ることが出来ました。シテ方が海面に向かって一生懸命に美しい面、簪、衣を薫風と共に揺ら揺らゆれ動いているさまを見入っているうちにその表情の豊かで嬾やかな美しさに引き込まれて：父が逝って十六年たったこと、沈没当時の父はどんな瞬間だったのだろうか、又、つましく生きた母も逝ってはや十五年たったこと、と、次々に思い出され胸が一杯になりました。本当に毎年毎年の式典を立派に執り行っている事に心から感謝申し上げます。

帰路、京浜電車に乗車。頂いた「白菊」一輪を手になされている方が目に入り、その方々が同胞のような気持ちに致しました。日帰り、両膝痛でしたが頑張って東京駅中央口で途中下車して父の勤めていた郵船ビル界限を歩いて眺めてきました。

上京する度に都会の目まぐるしい変化に瞠目させられ、あの戦争は何だったのだろうか、と、思いそして毎年かくも立派な式典を執り行ってくださることに心の中で御礼を申し上げながら帰宅致しました。仏壇に「白菊」「お饅頭」を供えさせていただき、「出席させていただいて良かった」と、しみじみ報告致しました。



記録画展に会場した水野孝さん（千葉市美術館於）

千葉県市原市 水野 孝

このたびの第三十九回戦没・殉職船員追悼式には毎年のことながら関係者皆様のご尽力によりまして、無事に執り行われましたことまずもって衷心よりお祝いと心からの感謝を申し上げる次第です。

多くの乗組員が一発の魚雷で一瞬にして眼前から消え去ってしまった



追悼式典会場の参列者

現実には直面したとき、生死の別れの残酷さに打ちのめされる思いをしたあの日が、まるで昨日の出来事のようになり、眼前に蘇り、私の心を締め付けました。もし私もあの瞬間に彼等と運命を共にしていたならば、今こうして追悼式を執り行ってくれること



海上自衛隊横須賀音楽隊

に、どれほど心が癒され慰められることか計り知れない思いで一杯でございます。

鬼籍の人になった彼等英霊も天国から同じような思いであの追悼式を眺めていたことと思います。彼等に代わって改めて心から深く御礼を申し上げます。

献花台の前進み出ますと、彼等と直に対面しているようで感極まり心の平静を失ってしまいます。



追悼式典には今年も能が奉納された

考えてみますと、生き残った我々こそ顕彰会の活動に率先して携わるべきではなかったかと多少後悔の念もございませう。私に出来ますことがございませうならば、なんでも協力させていただきたいと考えております。それが英霊に対する私の義務ではないかと考えております。いろいろお世話になりましたこと心より御礼申し上げます。最後に貴顕彰会をますますのご発展を祈念して筆を置かせて頂きます。

徳島県徳島市 藤井 義弘

ご案内有難うございました。誠に勝手ですが、今回は、追悼式の出席を控えさせて頂きます。徳島の地よりしめやかなる追悼式をお祈りし

ております。

元MOL社員でもあります小生は、東京で音楽業界の会議がありませう都度、横浜のホテルで滞在させて頂き、その一日を必ず観音崎の顕彰碑参拝にあてて頂きます。今年も一月、四月と参拝致しました。何時の日か、式に参列させて頂きたく存じます。

過ぎし年、海の記念祭が徳島で開催されましたが、ご来徳の、故永井典彦最高顧問と秋篠宮ご夫妻をお迎えしたこともありませうし、創業間もない頃、当時の社長相浦紀一郎様から尊文を賜ったことなど、海にまつわる貴重な思い出は終生の宝物です。貴会をますますのご発展をお祈りします。

追悼式実行委員を務めて

太平洋海運(株)

石見 謙

戦没者慰霊祭でも靖国神社には、少し違和感を持っているのですが、純粋に海での戦没・殉職船員に安らかなれと願う顕彰会の追悼式は、海を望む観音崎の景色と相まって清らかなものを感じませう。

新聞に元共栄タンカー一等航海士のエピソードが載っていました。ご遺族にとっても沖を通る船や海に向かつて献花でき、感慨もひとしおではなかったでしょうか。いい式典でした。この様な式典をお手伝いできうれしく思います。

追悼式実行委員のお便り

追悼式は、当会役職員に加え、約三十人の実行委員の協力により運営されています。実行委員からのお便りを紹介します。



最終打ち合わせをする実行委員

ました。

来年も機会があれば参加したいと思います。思います。よろしくお願い致します。

* 設営係

横須賀海洋少年団 副団長

橋詰 坦

天気にも恵まれ、全てとどこおりもなく順調に進み、万全の準備は見事であり、大変良かったと思います。海洋少年団で、海難にあわれた方がたの慰霊祭に参加できることは、大変名誉な事と感謝致しております。来年も及ばずながらお手伝いをしたいと思っております。

* 受付 (案内係)

横須賀海洋少年団 関係者

小倉 睦子

今年で二回目の参加になります。が、大変貴重な体験をさせていただき、嬉しく思います。休日であれば、団の子どもたちにも経験させてあげたい行事です。

横須賀は海の都市、海上の安全を願わずにはられない土地です。

今後、しっかりお手伝いさせていただきます。と思っています。



献花する白菊の配り方を確認する実行委員

* 受付 (案内係)

横須賀海洋少年団 関係者

瀬川 マヤ

お返事遅くなり申し訳ございません。皆様、よくお働きになり、特にはありません。式典終了後、参加された方がたが、ほっとされた笑顔で来年も参加できるようにと、私達にも挨拶して下さいました。お手伝いさせて頂いたこと、嬉しく思いました。

* 車両 (入口係)

東京海洋大学三年 海事普及会

湯浅 祐太

微力ながら入口係をさせて頂いた

きました。先輩の方がたから貴重なお話を伺うことができ、有意義な時間を過ごさせていただきました。このような体験をさせていただいたことに感謝しております。

* 受付 (献花料係)

東京海洋大学二年 海事普及会

武藤 紗由香

当初、来場者数からも、とても大変な仕事であると思っていました。が、実行委員を務めた後は、全く何も苦に感じませんでした。

私は、献花料係でしたが、各係にマニ アルが配布されており、何をすればいいのかが、明確であったことが大きいと思います。

来場者も、ほとんどがバスで定時に到着であったので、忙しい時間帯も決まっています。仕事がスムーズに進んだと思います。

また、前日の夕食や、当日の昼食会では、海・船関連の仕事に携わる方がたから普段聞けない貴重なお話も聞くことができ、とてもためになりました。

またいつか、機会があれば参加したいと思います。

日本殉職船員顕彰会の方がた、実行委員の方がた、本当にお世話になりました。

ありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。

新公益法人制度 日本殉職船員顕彰会の対応

当会を含め、民法第三十四条に基づき設立された財団法人は、昨年十二月一日より自動的に特例民法法人になりました。平成二十五年十一月末日までに新制度上の公益財団法人（認定）、あるいは一般財団法人（認可）に移行しなければ、法人格として存続できなくなります。

両法人の相違はどのような内容か。当会は移行認定か移行認可いずれを選択するのか、皆さんのご理解を頂きながら、検討の指針に資するため当顕彰会の対応を記載することに致しました。

クポイントに沿って公益認定等委員会にて検討される。

3 前記の他に、イ 経理的基礎及び技術的能力を有すること。ロ 法人関係者に特別の利益を与えないこと。ハ 収支相償であると見込まれること。ニ 公益目的事業比率が五十%以上と見込まれること。ホ 遊休財産が制限を超えないと見込まれること。

4 名称は公益財団法人〇〇〇となる。

二 一般財団法人

1 事業に制限がなく、登記のみによって法人格を取得することが可能。

2 定款で設立者に剰余金、残余財産を分配する権利を与えることではない。

3 行政官庁が法人の業務・運営全体について一律に監督することはない。そのため、法人の自主的、自律的な運営が可能であり、最低必要な各種機関の設置や、ガバナンスに関する事項については法律で規定する。

4 名称は一般財団法人〇〇〇となる。

一 公益財団法人

1 一般・公益財団法人のうち公益目的事業を行うことを主目的にしていてる法人は、申請して公益財団法人の認定を受けることができる。

2 認定法注一で定義している公益事業とは「学芸、技芸、慈善、祭祀、宗教その他の公益に関する事業であつて、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するもの」である二十三種類の事業（表1参照）。これらは公益認定等ガイドライン（注二）の十七項目のチェック

る。

5 既存の公益法人から一般財団法人に移行した法人の義務としては、公益目的財産額に相当する金額（貸借対照表上の純資産＋評価損益）が0になるまで公益に関する事業を実施する義務があり、毎年公益目的支出計画を作成、官庁に報告しなければならない。

三 従来の公益法人（特例民法法人）の移行時の選択肢（図1参照）

顕彰会のような既存の財団法人が、どちらの法人形態を選ぶかは、それぞれの法人の目的、事業内容、収入の状況によって異なる。新制度の特徴を比較して、各法人が主体的に決めることになる。一般的には次のことが言える。

1 公益財団法人に移行する団体

法人法（注三）の要件に加えて、認定法の基準を満たしており、財産についても、公益目的事業財産とそれ以外の財産を区分する必要や、収益事業の収益の一定割合を公益目的事業財産とする必要があるなど、認定法に則った運営が必要になる。税制上の優遇措置を受けつつ、特に寄附を主要な財源として公益目的事業を行う法人または、収益事業で得られた収益を財源の一部として公益目的事業を実施したい法人が選択することが想定される。

2 一般財団法人に移行する団体

公益目的支出計画実施中は、毎事業年度の公益目的支出計画の実施報告が必要であるが、比較的自由な立場で公益的の事業はもとより、様々な事業を実施したい法人が選択することが想定される。税制のうち、法人税については、非営利性が徹底された法人等であれば、収益事業のみの課税となる。ただし、受取利子等に係る源泉所得税については、課税となる。

四 新制度への日本殉職船員顕彰会の対応について

1 公益法人関係団体からの情報収集
当顕彰会の事業目的、組織、財務状況及び定款並びに内部規定をどのように整備しなければならぬのか、事務局にて調査検討を進めているところである。新制度に向けた決算報告等は、公認会計士の助言、指導を受けている。

今後、評議員会、理事会で審議のうえ、議決を得ることになる。関係者の意見を聞きとり進めたいと考えている。

2 新制度における日本殉職船員顕彰会の選択肢

(1) 公益財団法人への「認定」を申請。
(2) 一般財団法人への「認可」を申請し、非配分型の非営利法人とする。

認定法 別表（2条関係）

（表1）

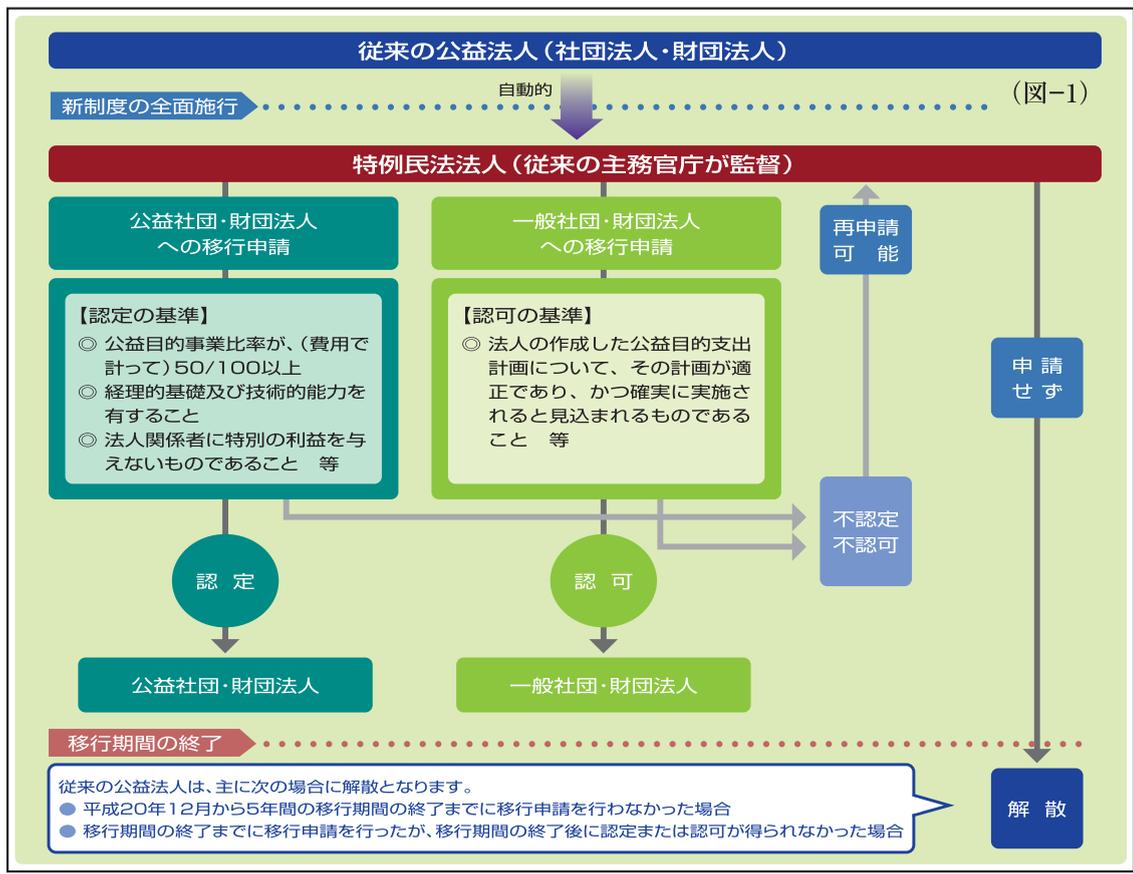
- 1 学術及び科学技術の振興を目的とする事業
- 2 文化及び芸術の振興を目的とする事業
- 3 障害者若しくは生活困窮者又は事故、災害若しくは犯罪による被害者の支援を目的とする事業
- 4 高齢者の福祉の増進を目的とする事業
- 5 勤労意欲のある者に対する就労の支援を目的とする事業
- 6 公衆衛生の向上を目的とする事業
- 7 児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業
- 8 勤労者の福祉の向上を目的とする事業
- 9 教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業
- 10 犯罪の防止又は治安の維持を目的とする事業
- 11 事故又は災害の防止を目的とする事業
- 12 人種、性別その他の事由による不当な差別又は偏見の防止及び根絶を目的とする事業
- 13 思想及び良心の自由、信教の自由又は表現の自由の尊重又は擁護を目的とする事業
- 14 男女共同参画社会の形成その他のより良い社会の形成の推進を目的とする事業
- 15 国際相互理解の促進及び開発途上にある海外の地域に対する経済協力を目的とする事業
- 16 地球環境の保全又は自然環境の保護及び整備を目的とする事業
- 17 国土の利用、整備または保全を目的とする事業
- 18 国政の健全な運営の確保に資することを目的とする事業
- 19 地域社会の健全な発展を目的とする事業
- 20 公正かつ自由な経済活動の機会の確保及び促進並びにその活性化による国民生活の安定向上を目的とする事業
- 21 国民生活に不可欠な物資、エネルギー等の安定供給の確保を目的とする事業
- 22 一般消費者の利益の擁護又は増進を目的とする事業
- 23 前各号に掲げるもののほか、公益に関する事業として政令で定めるもの

3 今後の移行スケジュール（案）
 平成二十二年十月の申請を目途に取り組む。
 当殉職船員顕彰会は収益事業がなく、事業を大別すると次のとおり。

- 1 殉職船員慰霊追悼事業
- 2 戦没・殉職船員慰霊等広報事業
- 3 戦没・殉職船員功績等調査事業（戦時徴用船遭難の記録画展）
- 4 殉職船員の遺族援護事業

（注）一 認定法公益社団法人及び公益財団法人の認定に関する法律、（注）二 ガイドライン公益認定等委員会が発行した公益認定等ガイドライン
 （注）三 法人法一般社団法人及び一般

財団法人に関する法律、整備法一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律





殉職船員遺族援護事業



高校生にも 遺児援護金を！

入学祝金も

これまで、当会の遺児援護金の支給期間は、『遺児が義務教育を修了するまでの期間』となっていた。

しかしながら、百年に一度といわれる不況に加え、全国の高等学校への進学率が九十七・七％（平成十九年度文部科学省学校基本調査・含む通信制）を超える中、保護者からの支給期間延長の強い要望を受け、平成二十一年五月二十六日の評議員会及び二十八日の理事会において遺児援護金支給規程が改定された。

主な改定内容は別表の通り。高等学校入学の場合も記念品が贈呈されることになった。

なお、平成二十一年四月一日以降の高等学校入学者からの適用となる。

条文	現 行	改 正 後
(援護金の支給) 第3条	<p>遺児に援護金を支給する。</p> <p>2 援護金の支給の期間は、遺児が義務教育を修了するまでの期間とする。</p> <p>3 援護金の支給額は、1人月額8,000円とする。</p> <p>4 援護金支給中の遺児が、小学校、中学校に入学した場合には、その都度、記念品を贈呈する。記念品の額は、小学校入学の場合は30,000円とし、中学校入学の場合は10,000円とし、それぞれ1回限りとする。</p>	<p>遺児に援護金を支給する。</p> <p>2 援護金の支給の期間は、遺児が義務教育及び高等学校を修了するまでの期間とする。</p> <p>3 援護金の支給額は、1人月額8,000円とする。</p> <p>4 援護金支給中の遺児が、小学校、中学校、高等学校に入学した場合には、その都度、記念品を贈呈する。記念品の額は、小学校入学の場合は30,000円、中学校、高等学校入学の場合は10,000円とし、それぞれ1回限りとする。</p>

みんなのおたより

高知県 岡元 美紀
 高等学校入学祝金ありがとうございます。毎日、元気に学校へ行っています。

宮城県 高橋 弘子

いつもありがとうございます。倭はこの頃、気持ちが少し落ちついてきたようで、試験がある時だけですが勉強をするようになりました。兄の飛翔とくらべられるのが嫌で反対の事ばかりしてきましたが、やはり中三にもなりますので自分で考え自分で決めなさいと言いましたら、この頃は手がかからなくなりビックリ

宮城県 阿部 悦子
 日々ありがとうございます。学校でもバスケットでも最上級生となり、ちよっぴりプレッシャーを感じながらがんばっています。身長も伸び、足も大きく二十六センチになりました。

三重県 大竹 初美

いつもご支援して頂きありがとうございます。家族三人健康で、元気に生活して居ります。四月からは子供達は、中二と小三に進級し身も心も随分と大きくなりました。が、まだまだ手もかかりますます私自身が、すっかりしなければと思っています。また、父親のいない分さみしくないよう、楽しくすごせるよう心を配ってがんばっています。

アンケートから

長い間ありがとうございます。遺児援護金のおかげで大変助かりました。特に小学校・中学校の入学時

にたくに準備費用がかかるときに支援していただきありがとうございます。高校になり制服や、教科書、通学のための自転車購入など自分が思っていた以上に準備費用がか

かり今までが恵まれていたと思えました。これからは毎日授業や教材費クラブ活動での消耗品の購入など、今まで以上に消費が増え、高校生にもぜひ遺児援護金を支給していただけたらと思います。

就学期間中まで延長して支給いただけることを強く願っています。これからも、就職のために専門学校、大学を子供に必要な教育を充分受けさせてあげたいので、ぜひ検討していただけるようお願いいたします。

ご寄付のお礼

平成二十年十一月以降、次の方が
たからご寄付をいただきました。厚
く御礼申し上げます。

(敬称略・順不同)

寄付金

玉井商船(株)創立八〇周年記念寄付金
(東京都港区) 阿部健一 (川崎市)
志波英明 (松山市) 海思想普及研
究会 (神戸市) 小野寺功一 (横浜市)
上田多佳子 (島根県隠岐郡) 新藤博
志 (横浜市) 高倉洋子 (金沢市) 河
合ハル子 (横浜市)

追悼式献花料

高等商船学校三期会 (東京都北区)
米山隆昭 (東京都北区) 高倉洋子 (金
沢市) 全日本海員生活協同組合 (横
浜市) 河方満智子 (豊中市) 小林義
隆 (篠山市) 高等商船学校二期生会
(横浜市) 阪口勝子 (草津市) 西嶋
忍 (大阪市) 河内フサエ (神戸市)
川畑實恵 (明石市) 松下トシエ (熊
本市) 和田耕作 (柏市) 渡辺光 (山
陽小野田市) 松下和子 (船橋市) 長
野ヨネ子 (東京都中野区) 宮本三夫
(調布市) (株)成山堂書店 (東京都新
宿区) 小松和夫 (横浜市) 伊藤春子
(豊田市) 竹内次郎 (さいたま市)
福田陽子 (雲仙市) 千葉八代子 (石

巻市) 福岡海寿会 (福岡市) 嶋田早
苗 (八幡市) 青函連絡船殉職者遺族
会 (函館市) 新田尚子 (宇部市) 三
木千代子 (丸亀市) 藤井義弘 (徳島
市) 江島伊四郎 (長崎市) 大原亮治
(横須賀市) 増田篤彦 (三浦市) 荒
谷秀治 (横浜市) 松本三七一 (姫路
市) 稲垣義夫 (神戸市) 中村良秋 (松
戸市) 橋本丈治 (八街市) 日本郵船
(株)郵和会本部 (横浜市) 河合ハル子
(横浜市) (財) 船員保険会 (東京
都渋谷区) 大圖富美子 (水戸市) 鈴
木富美子 (横浜市) 高垣宏江 (神戸
市) 高垣幸徳 (神戸市) 尾崎秀子 (神
戸市) 林嘉代子 (逗子市) 三好智恵
子 (北九州市) 古川昭 (日立市) 小
泉義男 (日立市) 升田紀子 (横浜市)
渡辺勤 (相模原市) 池原田鶴 (横浜
市) 水野孝子 (新潟市) 山本艶子 (伊
勢原市) 静友己枝 (東京都江東区)
山岸信一 (前橋市) 中野あい子 (東
京都江戸川区) 加辺覚一郎 (草加市)
中野昭男 (名古屋市) 平井ミホ (長
崎県北松浦郡) 和泉広和恵 (広島市)
蒲生安子 (広島市) 桜井正 (千葉市)
羽衣良子 (奈良市) 小野寺麗子 (気
仙沼市) 北村礼子 (東京都江東区)
御代テル子 (いわき市) 渡辺美代子
(いわき市) 浪速タンカー(株) (東京
都港区) 高等商船学校一期会 (横浜
市) 荒川博 (三鷹市) 藤田俊夫 (東
京都大田区) 横尾英二 (逗子市) 貝
谷アキ子 (一宮市) 橋本恭子 (八街
市) 都竹利年雄 (東京都杉並区) 三

輪史郎 (千葉県印旛郡) 全日本海員
組合関東地方支部職員OB会 (横浜
市) 三宅弘 (逗子市) (財) 日本船
員福利雇用促進センター (東京都中
央区) 全国海運組合連合会 (東京都
千代田区) (財) 全日本海員福祉セ
ンター (東京都港区) (財) 水交会
(東京都渋谷区) (財) 偕行社 (東
京都千代田区) 日本内航海運組合総
連合 (東京都千代田区) 全国海友婦
人会 (神戸市) 鴨居地区連合町内会
(横須賀市) 横須賀市東部漁業協同
組合鴨居支所 (横須賀市) 鴨居三軒
谷町内会 (横須賀市) 日正汽船(株)日
正クラブ (東京都港区) 川崎近海汽
船(株)川洋会 (東京都千代田区) 太平
洋海運(株)海労懇親会 (東京都港区)
渡辺政能 (藤沢市) 山下義昭 (神奈
川県中郡) 吉野明 (横浜市) 竹端昭
治 (豊中市) 飯田喜久三 (東京都渋
谷区) 小山利喜男 (気仙沼市) 唐桑
町海の殉難者慰霊碑保存会 (気仙沼
市) 佐々木光男 (気仙沼市) 小山芳
喜 (気仙沼市) 和泉啓二郎 (気仙沼
市) 伊藤惇 (気仙沼市) 穀田成實 (気
仙沼市) 伊東豊 (気仙沼市) 小山昇
(気仙沼市) 穀田周一 (気仙沼市)
小山重雄 (気仙沼市) 伊東重美 (気
仙沼市) 森崎末壽雄 (横浜市) 久我
吉男 (横浜市) 吉野則忠 (横浜市)
南洋海運(株) (藤沢市) 松浦郁郎 (横
浜市) 五十嵐温彦 (大和市) 鹿見島
商船学校同窓会京浜支部 (東京都港
区) 大木義男 (越谷市) 古屋久正 (川

新加入会員ご紹介

崎市) 手塚正水 (東京都渋谷区) 本
村泰清 (逗子市) 匿名

当会は、主要海運会社や関係団体
等の法人及び個人賛助会費、協賛会
費、基本財産の運用収入等により運
営しています。しかしながら利息の
減少や海運会社の合理化にともなう
法人賛助会員の減少により非常に厳
しい運営を強いられています。

そのような中でご遺族や関係者の
ご協力による個人賛助会員制度(年
一口一万円)・協賛会員制度(年一
口三千元)は慰霊、顕彰、援護事業
を支える大きな力となっています。

平成二十年十一月以降、次の方が
たが賛助会員・協賛会員に加入され
ました。厚く御礼申し上げます。

なお、協賛会費は、ご加入の月か
ら一年間となっております。今後ご
加入月到来の都度ご請求いたします
のでよろしくお願いいたします。

個人賛助会費の請求書の発行は毎
年四月になります。
(敬称略・順不同)

賛助会員

片岡和夫 (東京都)

協賛会員

寺澤直恭 (守口市) 港好道 (島根県
隠岐郡) 小坂田亨子 (西東京市)



会場交通案内

今年の「戦時徴用船遭難の記録画展」は八月二十五日(火)から九月六日(日)まで宝山ホール(鹿児島県文化センター)で開催されます。わが国の海運・水産界は、さきの大戦において六万余人に及ぶ尊い船員の生命と二千五百隻八百万総トンを超える商船を失うという大きな犠牲を払ったが、その実相を伝える資

開催の趣旨



入場無料

会場：宝山ホール(鹿児島県文化センター)
 日時：8月25日(火)～9月6日(日)
 9時～18時(月曜日休館・初日13時開場)



東京海洋大学追悼式実行委員、右から小池透光さん、武藤紗由香さん、金子亮介さん、湯浅祐太さん

編集後記

料はほとんど残されていない。昭和五十七年春、株式会社商船三井の本社倉庫から大阪商船(現商船三井)の嘱託画家 故大久保一郎氏が戦時中に描いた戦時徴用船遭難の記録画三十七点が見つかり、同社は日本有数の絵画修復家黒江光彦氏に依頼し、これらの絵を完全修復した。

◇東京海洋大学学生の実行委員
 例年、追悼式には海洋大学の学生が実行委員として参加する。この種の式典はやはり、参加して初めて理解できると思う、今後の為、少しでも役立ってくればと思っている。
 ◇追悼式の設営・夜間警備
 今年の戦没・殉職船員追悼式の準備は、前日から行うことになった。前夜の警備が必要になるとの結論から、どうしようかと思案していたところ、身近にいる実行委員から「船員OBが資格を持って警備できるよ」との話を受け、その対応をすることができた。皆さんの協力があって初めてできる追悼式だと思つづく感じた。また、海上自衛隊からはいろいろの事情あったが、音楽隊と救護車の配備をお願いでき感謝にたえない。

私達は、戦没された船員の労苦をしのび、その霊を慰めると共に世界の海の永遠の平和を願い、同社の協力を得て、全国各地に赴き絵画展を公開している。今日ではこの催しが、ご遺族や関係者に当会の慰霊追悼事業を周知する手立てにもなっている。

◇戦時徴用船記録画展の後援
 近年の記録画展の後援は、一社一団体であったが、今年は鹿児島県、市、第十管区海上保安本部、他、開催地のほとんどの新聞社、テレビ各社の後援を頂き、ポスター、リーフレットを作成配布している。県庁、市役所の関係窓口の方がたから多大のご協力を頂いた。児童生徒、一般の方のご来場を期待している。

(齋藤清伍)